

合格体験記 (A O 方式入学者選抜)

第 || 項 現代社会 学部 現代こども 学科

出身高校名 四條畷学園高等学校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

アリスワールの先生になりたいと考えている私は、大学で「子どもに寄り添う力」を身につけたいと考え、大学探しを始めました。そこで、同志社女子大学のオープンキャンパスに参加し、現代こども学科の「教育法を学ぶだけでなく、「子ども」自体について深く追究していく」という学科説明を受講。とても魅力に感じました。「実践的な学びを通して、子どもは何かを幅広く理解」などのコンセプトから、他の大学よりも子どもについて理解し、寄り添う力を身につけることができると考え、同志社女子大学を志望しました。

- (2) A O 方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は高校二年次に、一年間オーストラリアに留学していました。同志社女子大学を志望校に決めたのは日本に帰国してから、高校三年生の四月頃でした。留学をしていた一年分、他の生徒さんたちよりも、社会や国語(古典)の知識、学力が乏しかったので、そこで、学力ではなく、自分の経験をもとに挑戦して受験に挑みたいと考え、A O 方式入学者選抜で受験しようと思えました。

- (3) A O 方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

高校二年次に経験した留学を1番のアピールポイントとしていました。中でも、留学中に実際に受けた人種差別の乗り越え方など、特別な経験を通して自分だけの様に成長したかをアピールしました。国内、国外でのボランティア活動について、そして資格は、実用英語技能検定準1級も取得していたので、それをもアピールしました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

課題レポートと志望理由書、そしてエントリーカードの3つともに、自分自身の経験を途中で述べることを心がけました。人によって考え方が異なるので、たくさんの先生方や友達に読んでもらい、さまざまなアドバイスを頂きました。そこから何度も何度も書き直して、納得のいくものを作成しました。提出期限のギリギリまで、書き直しを繰り返していました。

〔面接〕

私の場合、書類審査の合格発表日から面接日まで、約一週間程だったので、入試スケジュールを確認して、合格発表日より前から面接の準備をしていました。提出した書類の内容を頭に入れながら、たくさんの面接練習を通して自分の考えていることをより深く、明確に固めていきました。本当にたくさんの人に練習をして頂き、どの角度から質問をされても大丈夫という自信が付き、力になることができました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

ここにちは、A O 方式で受験を考えているみなさんも、そうでないみなさんも、書類作成や受験勉強がとても忙しいと思いますが、残りの高校生活を思いっきり楽しんで下さい！書類作成はできるだけ早くから始めて、面接練習は自信が付き、当日はリフレッシュしてその自信を持って発言するといいと思います!! 頑張ってください。大学で会える日を楽しみにしています。